

鶴岡市社会福祉協議会

おだがいさま

odagaisama

第101号
令和4年
8月1日発行

農業×福祉



令和3年度 事業報告と決算報告

鶴岡市社協3計画（地域福祉活動計画、発展・強化計画、事業経営計画）第3期（令和3年度から令和7年度）の初年度として、それぞれに示された課題を計画的に推進しました。

重点事業報告

1 法人運営の充実・強化

- ・「発展強化計画第3期」に基づき、組織運営と組織体制の強化やガバナンス（組織統治）、労務管理体制の強化を進めました。
- ・本部事務局移転について、建物改修工事に向けた実施設計を行い、発注準備を計画的に進めました。

2 地域福祉活動の推進

- ・「鶴岡市地域福祉計画」と連動し、地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2020」に基づいた活動を進めるとともに、各地域ごとに作成された「地域支え合いプラン」に基づく地域の活動を支援しました。
- ・各福祉センターの職員を地域福祉ワーカーとして位置づけ、個別支援と地域支援を行うコミュニティソーシャルワークに重点を置いた活動を行いました。
- ・災害ボランティアセンター研修会を開催し、有事の際に関係機関、地域団体、職員が迅速に行動するための訓練を行いました。

3 生活支援事業

- ・判断能力に支障がある方の福祉サービス利用や日常的な金銭管理等の支援、財産管理や身上監護等の成年後見制度による支援に努めました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受付期間等が延長された生活福祉資金特例貸付と鶴岡市の緊急小口資金拡充支援資金貸付について、関係機関等と連携しながら迅速な対応に努めました。

4 高齢者福祉、障がい者福祉事業

- ・市民、利用者から信頼され選ばれる良質な福祉サービスの提供に努めるとともに、各事業の現状分析を行いながら事業展開の検討、見直しを進めました。
- ・職員や利用者への新型コロナウイルス感染予防対策を徹底するとともに、衛生環境の整備を進め、安心・安全なサービス提供に努めました。

5 児童福祉事業

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら子育て家庭への支援を行い、子どもの健全育成を図りました。また、感染状況に合わせてリモートによる研修を取り入れ、保育の質の向上に努めました。
- ・学童保育所の入所希望児童の増加に対応するため、鶴岡市と協議を重ねながら受入れ環境の整備に取り組みしました。



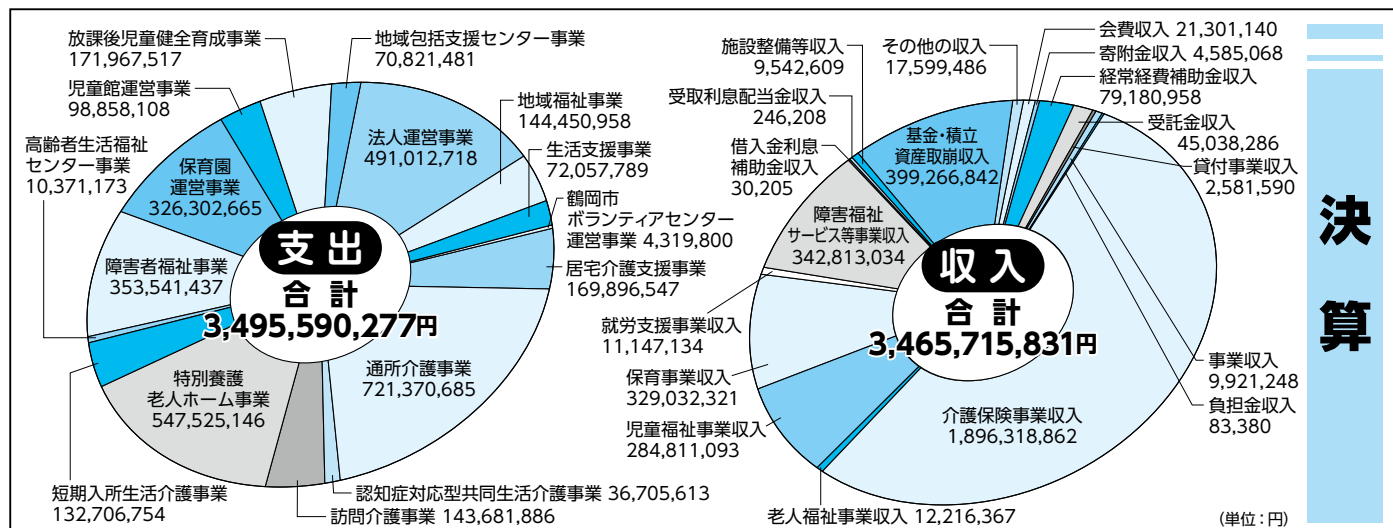
災害ボランティアセンター研修会



なえづ生活介護事業所の様子



くしびき保育園 どんどこ遊び



決算

表紙について

藤島福祉センターでは、庄内農業高等学校生徒と藤島地域の高齢者が農業を通じて交流を深める「農福連携プロジェクト事業」に取り組んでいます。生徒と高齢者が一緒に農作業を行う場はお互いの貴重な交流の機会となり、作業によっては高齢者が生徒にアドバイスする場面等もあり、生きがいづくりの場にもなっています。

まちづくりはここから！地域支え合いプラン

「地域支え合いプラン」をもとに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりのため、各地域で様々な取組が行われています。今回は第四学区と黄金地区の取組の内容をご紹介します。

第四学区

学区の特徴 十の町内会で構成され、「上肴町」や「鍛冶町」等の町内会名に見られるように、商人や職人の町として栄えてきた。小真木原公園や野球場、武道館等の運動施設が整備されている。
人口 9,237人 世帯数 4,116世帯
(令和4年3月現在)

プラン① 第四学区日常生活見守りネットワーク事業

- ・町内会単位で抱えている課題に留意しながら啓発チラシ作成、座談会の開催など

プラン② 第四学区会食交流会の充実事業

- ・運営体制の検討、参加者増加のための周知方法と取組の検討など

気づく力と見守り意識向上のために

日常の中で自然な見守り活動ができる地域を目指して「日常生活見守りネットワーク事業」を実施しており、町内会ごとに見守り啓発チラシを作成しています。チラシには住民同士の見守りを行う上での気づきのポイントや、相談できる福祉役員や関係機関の連絡先をまとめています。チラシを全戸配布した町内会では、地域の福祉役員の見守り意識や住民自身による日常の中の気づきの意識を育むことができました。

今後は持続的な見守り活動を目指し、他の福祉活動と連携しながら、日常生活から緊急時まで切れ目のない見守り活動を展開していく予定です。



見守り活動啓発チラシ

大盛況！ 会食交流会

一人暮らし高齢者を対象にした会食交流会が毎月開催されていましたが、コロナ禍でなかなか開催出来ず、ようやく昨年六月に、一年四カ月ぶりに再開されました。

コロナ以前とは開催方法など変わりましたが、「再会を楽しみにしていた」や「つばり人と会って話すのはいいの」など、大勢の方が久しぶりの交流を楽しんでいました。今後も地域の交流・居場所づくりとなるように、事業の充実と継続的な運営を目指していきます。



会食交流会の様子

黄金地区

地区の特徴 国指定名勝の「金峰山」や「母狩山」等の麓に沿う形で立地している自然豊かな地域。十の住民会で構成される。
人口 1,727 世帯数 573世帯
(令和4年3月現在)

プラン① こがね見守りネットワーク拡大事業

- ・「こがね地区見守りネットワーク」継続更新および周知拡大
- ・地区内の社会福祉施設や事業所、各教育機関と連携した見守り活動の実施

プラン② 黄金地区福祉座談会の開催

- ・地域防災と地域福祉の連携についての情報交換
- ・地域住民による「こころの健康づくり応援団」(仮称)の立ち上げ
- ・空き家を利用した「こころの相談カフェ」(仮称)の開催

生き心地のよい地域を目指して

「生き心地のよい地域づくり」を目指し、年三回の福祉座談会でこころの健康づくりに取り組んできました。その中で地域住民による「こころの健康づくり応援団」が立ち上がり、今後座談会やイベントの際にお手伝いをいただきながら一緒に啓発活動をしていく予定です。

また福祉座談会では、まちづくりアンケートをもとにグループに分かれて話し合いを行い、まちづくりの先進地事例を学ぶことで、個人や地域で何ができるのか考える機会となりました。

新しいことに取り組むのは簡単ではありませんが、住民自らが課題意識を持って地域のことを考える機会是非常に重要で、今後も継続して座談会に取り組んでいきます。



福祉座談会の様子

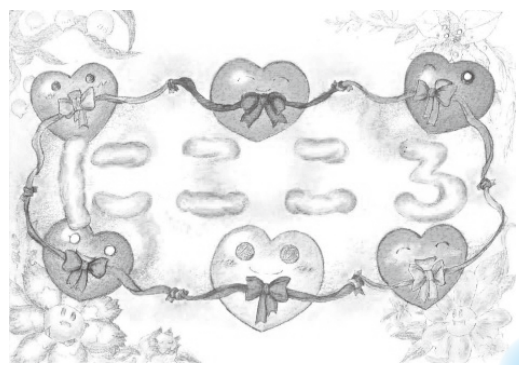
地区内でのつながりを作る

住民同士の見守り活動を目指した「見守りネットワーク」の冊子は、毎年確認・更新しながらその取組を拡大していくこととしています。特に地区内にある社会福祉施設や事業所などを知ることや、その施設等と情報交換をすることでつながりを作っていきたいと考えています。そして、そこから災害時の連携や協力しあう仕組み作りにつながるよう働きかけをしていきます。

鶴岡市障害者相談支援センターに愛称がつけました

愛称「にこころ」

鶴岡市障害者相談支援センターが、身近で親しみやすい相談窓口として周知されることを目的に、愛称を公募し、「にこころ」に決定しました。
所在地である鶴岡市総合福祉センターにこ♥ふるの「にこ」と、「こころ」をつなぐ支援を目指していることを結び付けた愛称です。



鶴岡市障害者相談支援センター「にこころ」は、鶴岡市から基幹相談センターとして委託を受け、障がいのある方の相談窓口として下記の事業を行っています。

- 障害理解啓発、虐待防止、権利擁護など様々な研修の実施
- 個別課題の中から地域課題を掘り起こし、鶴岡市障害者地域自立支援協議会での協議・検討
- 聴覚に障害がある方の意思疎通支援として、手話通訳設置事業、手話奉仕員養成事業の実施
- 障害のある方が地域で生き生きと生活できるよう、福祉サービス利用についての計画相談支援

なんとなく生きづらい、人との関わりが上手くできない、身体的不自由なことにサポートが欲しいなど相談も様々です。悩んでいたら、まずは「にこころ」にご相談ください。

問合せ先

鶴岡市障害者相談支援センター「にこころ」

〒997-0033 鶴岡市泉町5番30号
鶴岡市総合保健福祉センターにこ♥ふる2階
電話 0235-25-2794 FAX 0235-25-2476

にこころの情報は
Facebookから
ご確認ください



<https://www.facebook.com/nicocoro2022>



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和4年5月1日から令和4年6月30日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎藤島福祉センターへ

・日本道路㈱日本海アスコン 様 5,000円

◎櫛引福祉センターへ

・佐藤 榮一 様 タオル 50枚

★鶴岡市ボランティアセンター事業、他へ

・山形県退職公務員連盟鶴岡田川支部 様

タオル 273枚

★鶴岡福祉センターへ（児童福祉事業へ）

・国際ソロプチミスト鶴岡 様 100,000円

★鶴岡市高齢者福祉センターおおやまへ

・福村 直毅 様 車椅子用クッション 1枚

★とようら老人デイサービスセンターへ

・三瀬第二班 ほっこり会 様

タオル大4枚、タオル小50枚、

ウェス1箱、チラシゴミ箱200個

・中里 田鶴子 様

電動折りたたみベッド1台、浴槽台1台

・岩ゆり会 様 フェイスタオル18枚、

バスタオル2枚、チラシゴミ袋825個

・三瀬三班仲宮会 様 ウェス段ボール2箱分

・堅苔沢婦人会 様 手作り新聞紙袋500枚

★もみじが丘へ

・本間建設㈱ 代表取締役 本間 新之丞 様

200,000円

★はちもりへ

・堅苔沢婦人会 様

手作り新聞紙袋300枚、タオル類12枚

・三瀬第三地区会 様 ウェス8kg

・佐藤 秀雄 様 パジャマ2組、肌着4枚、

ズボン3本、上着1着

★訪問介護事業所へ

・匿名 様 30,000円

★フードバンクへ

・共立社鶴岡生協 様 食料品225個

・つるおか森の時間 様 食品・飲料品28個

おだがいさま

第101号

令和4年8月1日発行

発行部数 47,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号（にこ♥ふる2階）

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源に発行しています。